

秋田県青少年健全育成審議会 平成30年度第2回環境浄化部会 議事概要

日時 平成30年11月20日（火）午前10時28分～午前11時12分

場所 秋田県議会棟2階 特別会議室

1 出席者

○ 秋田県青少年健全育成審議会委員（敬称略、五十音順）9名

阿部弘道	秋田魁新報社整理部	部長
石川信	秋田県書店商業組合	監査役
熊谷真	秋田市立豊岩小学校	校長
関谷益実	秋田少年鑑別所	所長
高橋恭子	秋田県警察本部生活安全部少年女性安全課少年サポート係長	
高橋享子	秋田県BBS連盟	会員
濱田純	秋田大学客員教授・秋田大学北秋田分校長	
松浦真	一般公募	
皆川雪子	秋田県PTA連合会	金足西小学校PTA 会長

○ 事務局

次世代・女性活躍支援課	主幹	大島	ヒロ子
同課	主事	本郷	康之

2 議事（審議）

○ 優良図書1冊、有害図書5冊を諮問

【優良図書】

○ 優良図書の「クニマスは生きていた！」から審議しますが、これに関しては事前に審査していただいております、優良図書として「可」とされております。

→（集計委員）

優良図書については、事前審査のとおり、9名の方が「可」でした。

意見として

- ・ 田沢湖のクニマス再生についてのドキュメントである。クニマス漁の歴史、玉川から田沢湖への導水の背景とその甚大な影響、クニマスに関する仙北市と富士河口湖町との協力体制について丹念な取材をすることで、著者は全体を詳細にまた正確に把握しながら、その文章は驚くほど分かり易いものになっている。本書の終わりで、生物多様性維持の重要性を力説しているくだりは大変説得力がある。
- ・ 絶滅したと思われていたクニマスが、山梨県西湖で確認されたことは大きな喜びである。クニマスの復元に尽力した多くの方々の苦労と努力は、秋田県

民に周知されなければならないし、児童生徒のふるさと教育にも活用されるべき作品である。

- ・自然は、一度破壊されると元に戻すのが非常に難しく、これからの自然やいのちとの向き合い方について、意識を高める本である。
- ・クニマスの歴史と自然の再生。二代に渡って、想いが継がれていくストーリーは、秋田県の推奨図書としても良い内容だと思う。
- ・「クニマス」の発見を通して、郷土への熱いおもいが伝わってくる作品である。

とありました。

- 当審議会は、諮問のあった「クニマスは生きていた！」を優良図書として推奨「可」として、知事に答申したいと思います。

→（全委員）

異議無し

#### 【優害図書】

- 次は、有害図書ですが、今回は5冊です。

～有害図書審査～

- 有害図書の審査が終わったようですので集計結果をお願いします。

→（集計担当委員）

1番は、8人が指定対象でした。

2番は、8人が指定対象でした。

3番は、6人が指定対象、1人が指定対象外、1人が空欄でした。

4番は、8人が指定対象でした。

5番は、7人が指定対象、1人が指定対象外でした。

- 空欄の方や指定対象外の方の御意見はありますか。

→（集計担当委員）

空欄の方や指定対象外の方の御意見を報告します。

3番の、空欄の方は、ページ数的には指定対象となるのだろうが、内容が一般週刊誌等にもありそうなので判断がつきかねるとのことでした。指定対象外として、内容的に大人向ではないかとあります。

5番の指定対象外として、露出度が低く、性的描写がさほど多くないとあります。

→（委員）

私は3番について、空欄としました。ページ数的には指定対象となるのだろうが、内容が一般週刊誌等にもありそうなので判断がつきかねましたので、空欄としました。

○ 他に御意見ございますか。

審査の集計結果として、当審議会としては、諮問された図書の5冊は指定対象として、知事に答申することとします。

→ (全委員)

異議無し